

2025 年度日本文化体験イベント～江戸切子制作体験～

宝塚大学国際センター

この度、宝塚大学国際センター主催の日本文化体験イベント「江戸切子制作体験」が、6月14日に浅草にある創吉にて行われました。当日は、留学生と日本人学生あわせて18名の学生が集まり江戸切子制作に挑戦しました。

まず職人の方にお手本を見せていただきます。ガラスを削る機械は回転し続けており、ガラスの表面を削って模様を描くため、機械は指が触れるとケガをしてしまうように感じますが、実際は指で触れてもケガをすることはありません。そのため、機械を怖がらずしっかりとガラスをもつことが大切だそうです。

まずは星形に模様を削る練習をします。「思っていたより難しい。」「まっすぐに線を彫ることが大変。」という声がありましたが、機械には少し慣れることができた様子でした。

次にどのガラスにするか、またどのような模様を彫るかデザインを考え、ガラスに下絵を描きます。型紙を基本としたデザインにする学生もいれば、自分なりにガラスの色や形からデザインを考えている学生もいました。実際にガラスを削るときには「下絵のとおりに模様をつけるにはどのように削ればいいですか?」と職人さんに伺いながら、それぞれの作品を完成させていきました。



学生作品





